

領域5 インフォーマルミーティング 議事録

日付：2023.03.23 online (zoom)

出席者：領域代表・副代表・運営委員を含む計 25 名

配布資料：発表スライドは未配布

1. 審議

- 1-1 運営委員の紹介
- 1-2 領域活性化について
- 1-3 オンライン学会でのポスターセッションのありかた
- 1-4 プログラム編集会議での編集ツールと編集方法
- 1-5 学会の国際化

2. 案内

- 2-1 招待講演・シンポジウム・企画講演
- 2-2 招待講演とチュートリアル講演の区分け

◆審議 1-1 運営委員の紹介

- ・今期代表・副代表・運営委員の紹介が行われた。
- ・来期代表・副代表・運営委員の紹介が行われた。
- ・次々期の運営委員について下記の3名について承認された。
下記の3名を物理学会に推薦予定。

小野 淳 (東北大学)
黒田 健太 (広島大学)
蓑輪 陽介 (大阪大学)

◆審議 1-2 領域活性化について

- ・発表件数について
前回の審議の訂正：前回大会は、全体として講演者数が減少と報告されていたが、正しくは、増加していた。
領域5全体の講演者数は減少傾向であるが、前大会（オンライン開催）が突出して講演者

数が多かった。

今大会の一般講演者数は大きく減ったが、次回が現地開催であることを見越して、発表を控えたためという説明があった。

発表者数はオンライン開催と現地開催を区別して比較するべきという提案がされた。

- ・学生優秀賞について

口頭発表での申請が11件と多かった。注意喚起の徹底を改めて行う必要あり。

- ・オンライン開催のメリット（会場数の制限がないなど）を活かす方法について議論がされた。

- ・シンポジウムの企画について

企画講演数は過去最大であった。今後も企画講演の提案を継続すべきとの説明があった。シンポジウム企画の領域内締切は4/21。

◆審議 1-3 オンライン学会でのポスターセッションのありかた

- ・オンライン大会中のポスター掲示は、あまり生かされていないという意見があった。

- ・各ポスターに集まっている人の様子がわかる zoom 以外のツール (Spatial Chat など) を使って、ポスター発表を聴きに来た人同士の議論を促進できないかという意見があった。領域5だけで、すぐに仕組みを変えるのは難しいという説明があった。

◆審議 1-4 プログラム編集会議での編集ツールと編集方法

- ・領域をまたぐ重複講演者・座長はメールベースで調整・確認しているのが現状。

- ・エクセルシートを他領域の運営委員がリアルタイムで確認できると良いという意見があった。

- ・応用物理学会などでは Confit というプログラム編集ツールを活用しているので、物理学会でも導入することを提言すべきという意見があった。

◆審議 1-5 学会の国際化

- ・学会の英語化は物理学会本部で取り下げられた。

- ・引き続き、オンライン学会での国際シンポジウムの企画の促進とスライドの英語化を促進する。

・海外からの招待講演について

海外からの招待講演には期待していたよりも参加者が多くないので、参加者に宣伝をすべきという提案がされた。

宣伝の方法として、メーリングリストの活用だけでなく、特集ページを作ることや **twitter** を活用することが提案された。

学会のホームページの目立つところで企画講演のアピールをすべきという提案があった。学会参加者全体にメールを送って宣伝できる仕組みがあると良いという意見があった。

◆案内 2-1 招待講演・シンポジウム・企画講演

・今期に開催されているシンポジウム、チュートリアル講演・招待講演の案内が行われた。

◆案内 2-2 招待講演とチュートリアル講演の区分け

・企画講演提案に関する説明が行われた。招待講演とチュートリアル講演の区分けについて説明が行われた。

※大会申し込み前に、なるべく運営委員に相談していただきたい旨が説明された。

締切は 4/21。